



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札  
 コード番号 3055 URL <https://www.hokutake.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞鍋 雅信  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員オペレーション (氏名) 巖 友弘 TEL 011-633-1030  
 本部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	63,855	5.7	402	153.4	811	59.7	831	28.9
2022年3月期第1四半期	60,426	4.0	159	405.0	508	27.2	645	183.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 906百万円 (27.8%) 2022年3月期第1四半期 709百万円 (△39.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	36.86	—
2022年3月期第1四半期	27.84	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	139,305	55,851	40.1	2,541.87
2022年3月期	136,883	55,543	40.6	2,460.67

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 55,840百万円 2022年3月期 55,532百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	7.50	—	9.50	17.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	125,000	2.4	1,100	44.9	1,600	16.9	1,300	9.2	57.60
通期	248,000	△0.1	2,100	△1.5	3,150	△7.7	2,300	△18.0	101.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	24,400,000株	2022年3月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,431,862株	2022年3月期	1,832,062株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	22,561,347株	2022年3月期1Q	23,168,117株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの流行による景気回復の見通しは依然として不透明なことに加え、ウクライナ情勢の長期化などの影響が懸念されています。

このような事業環境の中、当社グループでは、引き続き感染防止対策に十分に配慮しながら、事業活動の継続に努めました。

医薬品卸売事業の株式会社ほくやくでは札幌圏の物流体制強化のため5月に札幌支店を新築移転いたしました。また、6月には、介護事業の株式会社マルベリーが旭川市にて開催した「福祉用具展示研修会」を通して最新の情報を提供いたしました。

以上の状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は638億55百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は4億2百万円（同153.4%増）、経常利益は8億11百万円（同59.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億31百万円（同28.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

#### (医薬品卸売事業)

医薬品卸売事業におきましては、2022年4月に診療報酬改定ならびに薬価引き下げが実施されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止による受診抑制は緩和されつつありますが、営業活動の制限は現在も続いております。また、長期収載品の売上の減少に加え、後発医薬品における供給面での混乱が未だ継続している状況です。このような厳しい環境ではありますが、抗がん剤など新薬の販売にも積極的に取り組んだ結果、売上全体では前年を上回ることができました。利益面では、きめ細かな価格管理を継続して取り組み、前年を上回る結果となりました。

その結果、売上高は462億円（前年同期比5.9%増）、営業利益は1億78百万円（前年同期は37百万円の営業損失）となりました。

#### (医療機器卸売事業)

医療機器卸売事業におきましては、4月の特定保険医療材料の償還価格改定による価格交渉がありました。新築移転案件を含む大型機器の売上に加え、新型コロナウイルス感染症関連商材の需要増もあり、売上は前年を上回る結果となりました。利益につきましては消耗品ならびに備品関連の売上増加に伴い増益となりました。

その結果、売上高は157億29百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は3億12百万円（同29.8%増）となりました。

#### (薬局事業)

薬局事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止による受診抑制は緩和されつつあり、処方箋枚数は前年対比で3.7%増加しましたが、2022年4月の薬価引き下げにより、処方箋単価が低下したため、売上はほぼ横ばいとなりました。利益については薬価引き下げの影響を受け前年度に引き続き営業損失となりました。

その結果、売上高は33億29百万円（前年同期比0.1%減）、営業損失は50百万円（前年同期は14百万円の営業損失）となりました。

#### (介護事業)

介護事業におきましては、福祉用具のレンタル・販売および住宅改修と介護ロボットの普及推進における営業員の増員・育成の強化を図りました。また、福祉用具サービス計画の作成提案から納品後のモニタリングの徹底まで、一貫した顧客重視の方針により、売上・利益ともに安定的に推移しました。サービス付き高齢者向け住宅の部門におきましては、新型コロナウイルス感染症対策として入館規制や手指消毒などを徹底しており、入居者数は安定し訪問介護・看護部門での売上も順調に推移しました。

その結果、売上高は9億72百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は68百万円（同35.8%増）となりました。

**(ICT事業)**

ICT事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による海外製造拠点のロックダウン等の影響により製品供給の遅延や急激な円安による製品価格の高騰などのマイナス要因もありましたが、前期からの受注残とコンピュータ機器やソフトウェアライセンス等の販売が堅調に推移したことにより売上は増収となりました。一方、システム開発につきましては、全国的なIT人材不足による人件費の高騰で、システム開発にかかる経費が上昇傾向にあり、利益は減少いたしました。

その結果、売上高は3億67百万円(前年同期比13.0%増)、営業利益は8百万円(同55.3%減)となりました。

**(2) 財政状態に関する説明**

当第1四半期連結累計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりとなりました。

総資産は1,393億5百万円(前連結会計年度末は1,368億83百万円)となり、24億21百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が29億25百万円増加、建物及び構築物が18億29百万円増加した一方、建設仮勘定が19億66百万円減少したことによるものです。

負債は834億53百万円(前連結会計年度末は813億40百万円)となり、21億13百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の支払債務が16億3百万円、賞与引当金が5億10百万円増加した一方、未払法人税等が3億27百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、558億51百万円(前連結会計年度末は555億43百万円)となり、3億8百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が6億17百万円、その他有価証券評価差額金が69百万円増加した一方、自己株式の取得により3億83百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ29億25百万円増加し、240億17百万円となりました。

**(営業活動によるキャッシュ・フロー)**

営業活動の結果得られた資金は30億55百万円(前年同期比45.4%増)となりました。これは、増加要素として税金等調整前四半期純利益12億円(同39.0%増)、減価償却費2億56百万円(同2.8%減)、仕入債務の増加16億3百万円(同25.2%減)、棚卸資産の減少2億40百万円(同69.5%増)、賞与引当金の増加5億10百万円(同4.5%増)、未収入金の減少8億89百万円(同128.1%増)などがありましたが、減少要素として売上債権の増加4億51百万円(同69.5%減)、未払消費税等の減少1億24百万円(前年同期は1億30百万円の増加)、法人税等の支払8億28百万円(前年同期比91.0%増)があったことによるものです。

**(投資活動によるキャッシュ・フロー)**

投資活動の結果得られた資金は61百万円(前年同期比81.6%減)となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得により4億43百万円(前年同期比174.7%増)、投資有価証券の取得により64百万円(同167.2%増)の支出があった一方、投資有価証券の売却により5億66百万円(同3.4%増)の資金を獲得したことによるものです。

**(財務活動によるキャッシュ・フロー)**

財務活動の結果使用した資金は1億91百万円(前年同期比19.6%増)となりました。これは主に配当金の支払1億73百万円(同22.1%増)およびリース債務の返済16百万円(同1.3%減)があったことによるものです。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

2022年5月13日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,091	24,017
受取手形及び売掛金	52,740	53,211
商品及び製品	15,974	15,726
仕掛品	3	10
その他	7,706	6,902
貸倒引当金	△20	△11
流動資産合計	97,495	99,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,844	9,674
土地	9,421	9,475
建設仮勘定	2,301	335
その他(純額)	852	900
有形固定資産合計	20,420	20,384
無形固定資産		
のれん	1,069	1,042
ソフトウェア	541	507
その他	186	220
無形固定資産合計	1,797	1,769
投資その他の資産		
投資有価証券	15,475	15,500
長期売掛金	109	105
長期貸付金	393	372
繰延税金資産	574	696
退職給付に係る資産	1	1
その他	738	733
貸倒引当金	△123	△115
投資その他の資産合計	17,170	17,294
固定資産合計	39,388	39,449
資産合計	136,883	139,305

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	71,627	73,088
電子記録債務	2,231	2,372
1年内返済予定の長期借入金	1	1
未払法人税等	885	557
賞与引当金	860	1,370
役員賞与引当金	131	29
その他	2,477	2,960
流動負債合計	78,214	80,382
固定負債		
長期借入金	16	16
繰延税金負債	1,510	1,461
再評価に係る繰延税金負債	120	120
退職給付に係る負債	367	354
長期未払金	397	395
資産除去債務	488	490
その他	224	232
固定負債合計	3,125	3,071
負債合計	81,340	83,453
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	38,965	39,582
自己株式	△1,325	△1,709
株主資本合計	50,461	50,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,909	5,978
土地再評価差額金	△742	△742
退職給付に係る調整累計額	△96	△91
その他の包括利益累計額合計	5,070	5,145
非支配株主持分	11	11
純資産合計	55,543	55,851
負債純資産合計	136,883	139,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	60,426	63,855
売上原価	56,070	59,106
売上総利益	4,355	4,749
販売費及び一般管理費		
荷造費	276	267
給料	1,883	1,948
賞与引当金繰入額	423	435
役員賞与引当金繰入額	27	28
退職給付費用	87	88
法定福利及び厚生費	385	389
賃借料	72	71
その他	1,040	1,117
販売費及び一般管理費合計	4,196	4,346
営業利益	159	402
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	125	132
受取事務手数料	162	165
不動産賃貸料	33	36
持分法による投資利益	30	34
貸倒引当金戻入額	1	16
その他	44	59
営業外収益合計	398	447
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸原価	27	29
遊休資産諸費用	7	4
持分法による投資損失	0	—
その他	12	4
営業外費用合計	49	38
経常利益	508	811
特別利益		
投資有価証券売却益	359	389
特別利益合計	359	389
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	4	0
特別損失合計	4	1
税金等調整前四半期純利益	863	1,200
法人税、住民税及び事業税	685	578
法人税等調整額	△467	△210
法人税等合計	217	368
四半期純利益	645	831
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	645	831



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	645	831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	69
退職給付に係る調整額	4	5
その他の包括利益合計	63	74
四半期包括利益	709	906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	708	906
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	863	1,200
減価償却費	263	256
のれん償却額	27	27
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△16
受取利息及び受取配当金	△126	△133
支払利息	0	0
持分法による投資損益(△は益)	△29	△34
固定資産売却損益(△は益)	—	0
固定資産除却損	4	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△359	△389
売上債権の増減額(△は増加)	△1,478	△451
棚卸資産の増減額(△は増加)	142	240
仕入債務の増減額(△は減少)	2,143	1,603
未払消費税等の増減額(△は減少)	130	△124
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	488	510
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△95	△101
未収入金の増減額(△は増加)	389	889
預り金の増減額(△は減少)	157	269
その他	△108	3
小計	2,408	3,746
利息及び配当金の受取額	126	137
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△433	△828
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,101	3,055
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△129	△398
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△31	△44
投資有価証券の取得による支出	△24	△64
投資有価証券の売却による収入	547	566
貸付金の回収による収入	4	4
その他	△34	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	332	61
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△142	△173
リース債務の返済による支出	△17	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△159	△191
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,273	2,925
現金及び現金同等物の期首残高	20,434	21,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,707	24,017

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

## (1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	41,330	14,722	3,328	932	94	16	60,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,311	132	3	4	229	754	3,435
計	43,641	14,855	3,332	936	324	770	63,862
セグメント利益又は損失(△)	△37	240	△14	50	18	422	679

## (2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	679
セグメント間取引消去	△468
のれんの償却額	△23
棚卸資産の調整額	△28
四半期連結損益計算書の営業利益	159

## (3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 2 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

## (1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売 事業	医療機器卸 売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	43,831	15,612	3,326	972	96	17	63,855
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,369	117	2	0	270	1,331	4,092
計	46,200	15,729	3,329	972	367	1,348	67,948
セグメント利益又は損失 (△)	178	312	△50	68	8	985	1,501

## (2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,501
セグメント間取引消去	△1,042
のれんの償却額	△23
棚卸資産の調整額	△33
四半期連結損益計算書の営業利益	402

## (3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。